

会話について 会話することと 人間になること



講師

矢原 隆行先生

(熊本大学大学院
人文社会科学研究院 教授)

プロフィール

臨床社会学者。ノルウェー北部、北極圏の街トロムソで、トム・アンデルセンが仲間たちと生みだしたリフレクティング・プロセスに関心を持ち、北欧各地のメンタルヘルス、司法、教育、福祉、組織開発などの実践現場を訪ねる。国内では、福祉施設、精神科医療機関、少年院や刑務所などと協働して、リフレクティングの実践研究に取り組んでいる。関心は、あたりまえの会話が生まれるところ、文脈に風を通すこと。熊本大学大学院で、紛争解決学を掲げる専攻にて「ダイアローグ実践」を担当。著作に『リフレクティングの臨床社会学：ケアとダイアローグの思想と実践』（青土社、2023）等多数。

講演
要旨

北欧で生まれたリフレクティング・プロセスは、対話を通じて関係や文脈に新たな風を通す実践として、医療や福祉、司法など多様な現場に広がってきました。本講演では、北極圏トロムソでの源流から、日本の精神科医療や矯正施設との協働実践までを手がかりに、「あたりまえの会話」が立ち上がる条件や、ダイアローグがもたらす変化の可能性について、本邦のリフレクティング研究の第一人者である矢原隆行先生をお招きしてお話を伺います。ご興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

日時
会場

2026年1月13日火 19:00～21:00

オンラインセミナー：Zoomによる配信(40名まで)

登録用QRコード



申込

参加費は無料です。どなたでもご参加ください。なお、講演中に小グループで意見交換をする時間を設ける予定です。オンラインでカメラオン参加をお願いする形になりますので、あらかじめご承知おきください。
参加を希望される場合、**1月12日17時まで**に参加希望を以下リンク先のGoogleフォーム(QRコードからもたどれます)から、氏名、e-mailアドレス、ご所属、ご職業を記入してお送りください。なお、定員に達したところで申し込みは締め切りとさせていただきます。ご了承いただけますと幸いです。参加いただける方々には開催日前に記入いただいたe-mailアドレスまでZoomリンクをお知らせいたします。
GoogleフォームURL <https://forms.gle/c2byopmXTMVt8hyU9>